

今回は2年生の課題解決型研究について、今後の予定をお知らせします。

◇ 2年 課題解決型研究テーマ『SDGsと食と農』

2年生の今年度の研究テーマは、『SDGsと食と農』です。「JAめぐみの」の協力を得て、地域社会におけるSDGs実現を目指して研究を進めます。まずはJAや厚生労働省のホームページをはじめ、優良サイトを中心に閲覧、情報を収集することで課題を発見します。その後、地元農業や食文化との関連性を考慮した上で、解決策を提案していきたいと考えています。

コロナウイルス感染拡大の影響による休業期間が続いたことで、課題解決型研究の開始も遅れており、また、例年通りのフィールドワーク実施も難しい状況です。それを踏まえて、今後の課題解決型研究を次のように進めていきます。

◇ 研究の進め方

例年行っているフィールドワークは、家庭科の夏課題で代替します。これに向けて、夏休み前のFRH活動では「SDGsと食と農」に沿った家庭科の課題を決定します。

例えば、この中からレシピ作りを選択し、地元野菜をこれに加えることで地産地消という「SDGsと食と農」のテーマに沿ったフィールドワークに代替するものとして認めます。地元野菜の購入については「JAめぐみの」から「とれたた広場」の500円商品券を提供していただきます。レシピ作りを選択した生徒には商品券を配付いたします。家庭科の課題への取り組みを契機として、地域におけるSDGs実現への課題とその解決への糸口を発見し、夏休み明けからは課題解決型研究の個人活動を進めます。今年度は個人でのレポート作成を行います。その後レポートをもとに、ポスター発表のためのポスター作成を行います。

◇ 家庭科課題をフィールドワークに代替する意義

今年度は三密を避ける意図から、グループでの研究活動や、校外でのフィールドワーク活動が実施できません。そこで本校では、個人研究においても調べ学習に終始しない「活動」の要素を考慮した取り組みを探ってきました。家庭科の夏課題をFRH活動と紐付けることは、その具体策の一つです。テキストやデータによる理解にとどまらず、実際にレシピを作ってみる、調理してみる、ものづくりに挑戦してみる中で、より多角的な視点からSDGs実現への方途を摸索します。

特にレシピ考案、調理活動を進める上では、先に述べたとおり「JAめぐみの」から食品購入の補助をいただくなど、積極的な協力を頂いています。今後も校内コンクールや成果物の審査など、さまざまな形でご協力いただけることになっています。地元の食・農を支えるうえで中核的な実務を担う「JAめぐみの」と連携することで、単純な情報収集にとどまらない、より実践的な探究活動を進めていきます。

◇ FRH発表会に向けて

3月に行なうFRH発表会は、生徒の研究成果を多くの方々に共有していただく場として好評をいただいておりますが、今年度の実施については、探究活動の過程と同様に三密を避けることが求められます。例年通りの形式での実施が難しいと判断された場合に備えて、ウェブ上でのポスター発表やオンラインでの発表会を検討しています。